

2002年度 予算について

◆基本方針

2002年度は独立研究科・新研究科・新学科等の開設、12号館(社会科学系研究棟)、13号館(自然科学系研究棟)の竣工に伴い費用負担が増加し、厳しい財政状況となる見込みです。こうした状況を踏まえ、安定した収入を確保すると同時に、経常経費の削減策として各部局が業務の更なる見直しを行い5%節減に取り組みます。

教育研究環境の整備・充実策として主な施策は、図書館の夜間・休日開館の実施、大学院給与奨学金および外国人留学生支援制度の拡大、さらに池袋・新座両キャンパス内各教室のマルチメディア装置の増設・改善、ならびに各所トイレの改修やバリアフリー化等の施設整備を行います。

また、財務基盤の充実策として、立教学院全体での効率的運用とリスク管理強化のため運営資金引当特定資産を設け学院合同運用を開始します。さらに将来的な教育環境の整備・向上に備え、引き続き特定資産および基金への積み増しも実施します。



本館(右)および12号館(社会科学系研究棟)

【消費収支予算書】2002年4月1日から2003年3月31日まで (単位:千円)

◆消費収支予算書の概要

1. 帰属収支について

帰属収入は学生生徒等納付金、手数料、補助金などの合計で198億4,300万円、基本金組入額を除いた消費収入は182億9,600万円を計上しています。これに対して消費支出は人件費、教育研究経費、管理経費などの合計で197億4,100万円になり、14億4,400万円の支出超過となります。

帰属収入のうち、学生生徒等納付金は独立研究科等の開設による学生数の増加、学費を1.5%改定したことなどにより4億7,100万円の増収(前年度予算比、以下同様)となります。一方、減収となる科目は、寄付金が2億2,600万円の減収、補助金が5億7,200万円の減収となります。

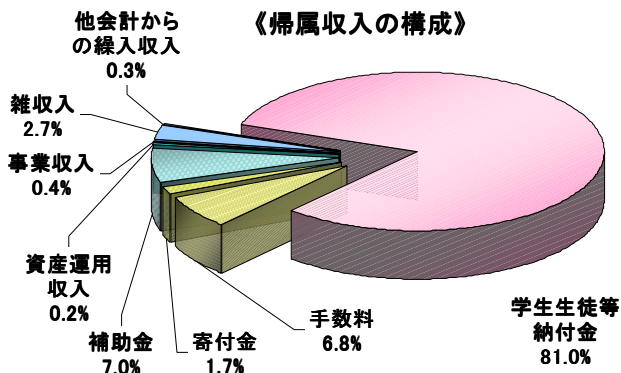
2. 基本金組入額について

基本金組入額は、

- ① 施設関係 9億 600万円
- ② 設備関係 1億2,000万円
- ③ その他(第3号基本金、第4号基本金、借入金返済分) 5億2,000万円

合計15億4,600万円で、前年度と比較して43億5,000万円の減となります。その結果、基本金組入額の帰属収入に占める割合は7.8%となります。

科目		2002年度予算額	2001年度予算額	増・減(△)
消費収入の部	学生生徒等納付金	16,076,368	15,605,267	471,101
	手数料	1,342,109	1,255,094	87,015
	寄付金	332,852	558,997	△ 226,145
	補助金	1,383,556	1,956,196	△ 572,640
	資産運用収入	46,838	73,332	△ 26,494
	事業収入	76,551	75,506	1,045
	雑収入	529,946	424,324	105,622
	他会計からの繰入収入	55,287	249,618	△ 194,331
	帰属収入合計	19,843,507	20,198,334	△ 354,827
基本金組入額	△ 1,546,873	△ 5,897,259	4,350,386	
消費収入の部合計	18,296,634	14,301,075	3,995,559	
消費支出の部	人件費	12,019,787	11,507,727	512,060
	教育研究経費	6,166,349	5,513,749	652,600
	管理経費	1,191,088	1,296,660	△ 105,572
	他会計への繰入支出	623	0	623
	借入金等利息	83,351	68,530	14,821
	資産処分差額	86,095	52,669	33,426
	徴収不能額	14,226	18,378	△ 4,152
予備費	180,000	120,000	60,000	
消費支出の部合計	19,741,519	18,577,713	1,163,806	
当年度消費支出超過額	1,444,885	4,276,638		
翌年度繰越消費支出超過額	8,846,919	7,402,034		



☆帰属収入合計に対する割合を表示

